

人口 72,877(+69)
 { 男 34,832 }
 { 女 38,045 }
 世帯数 21,526(+3)
 ()内は前月比

大 報

おおだて

10月1日号 (No.328)

編集と発行 — 大館市役所

(電話49-3111)

発行年月日 — 昭和57年10月1日

発行日 — 毎月1・16日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

◀広報は早めにまわしましょう▶

広 報 時 記

10月

陰曆異名・神無月 (かんづき)

花 暦・きく (清 淨)

誕生石・オパール (温和、忍耐)

モミジ狩り

北国から南へと今年も紅葉前線がやってきます。落葉樹が紅葉する様子は大自然という手品師が壮大な舞台を一气に作り出してくれます。一日の最低気温が6度台に下がると紅葉が始まるといわれます。紅葉の仕組みは葉緑素が分解して緑色でなくなってしまう、糖類から花青素が形成されて紅色となるわけで、日照時間が多く続いた後に急激な冷え込みがあると色が鮮かになるといわれています。どんよりと曇っていたり、雨が降り続いた時は黄色になったりして、色はさえません。また反対に雨が少な過ぎても落葉してしまうので、これまた観賞するどころではないわけです。



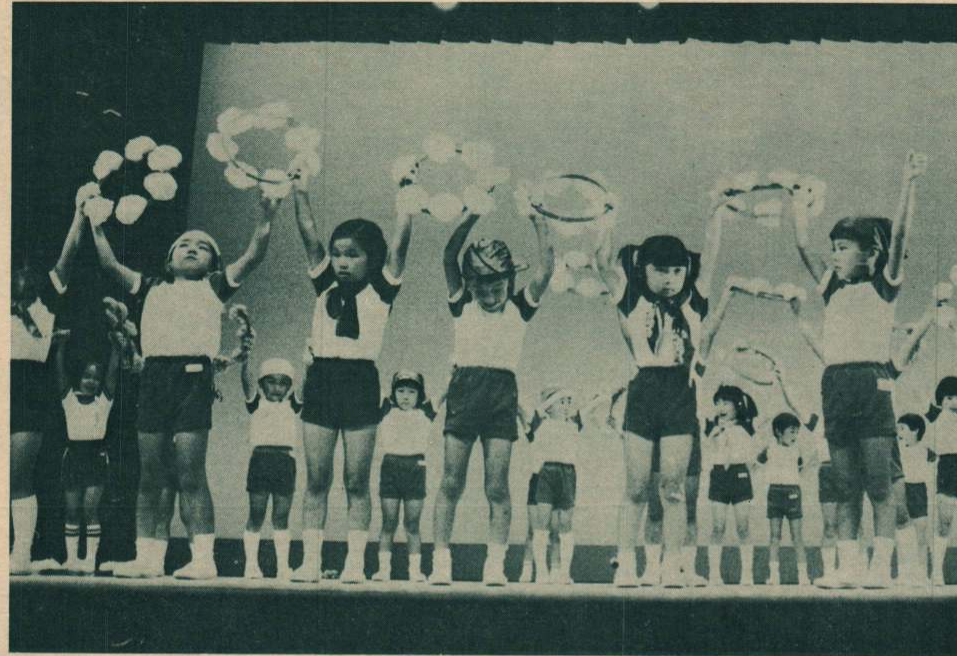
◀今月の主な行事▶

- 1日・体力づくり強調月間、共同募金運動、高齢者雇用促進月間
- 3日・第37回国体秋季大会(島根県)
- 8日・幼児体力テスト(市民体育館)
- 10日・体育の日、目の愛護デー
きりたんぼ祭(～11月10日)
- 11日・全国防犯運動
- 15日・市老人クラブ連合会創立20周年記念式典(文化会館)
- 16日・大館コメ祭(～17日いとく)
- 17日・行政相談週間、薬と健康の週間
- 22日・職場総合美術展(～27日正礼竹村)
- 30日・産業祭(～11月3日)

学ぶ輪をみんなで広げよう

学ぶ輪をみんなで広げよう!!
 第七回大館市「教育の日」が先月十九日、市民文化会館を主会場に開催されました。午前九時、市内八小学校鼓隊の市内パレードで開幕。引き続き式典、討論集会、記念論文発表などが文化会館ホールで繰り広げられました。また午後からは大ホールで元NHKアナウンサーで現在エッセイストとして活躍中の下重暁子さんの記念講演や、楽しく学ばせたいとして園児らの歌などが披露されました。年々市民の教育に対する関心も高まってきていますが、市では今後とも広く教育全般にわたっての問題や活動を市民とともに考え、推進していくことにしています。

荒谷県教育センター所長ら五人のバネラを中心に、活発な意見、提言がとび交いました。



▲毎年「教育の日」を飾ってきた♪楽しく学ぶ集い♪今年も市内小・中学生や婦人会などが歌や踊りを披露、およそ7百人の観客から盛んな拍手を浴びました。



▲桂城公園から大町を回り、文化会館までのパレードには日曜の朝にもかかわらず多くの市民が沿道を埋めました。

市民文化会館の催し物

県芸術祭「洋舞」公演

秋田県芸術祭「洋舞」公演が行われます。公演には、当市の竹沢バレエ学園をはじめ県内八つのバレエ研究所が出演します。
 日時・10月10日(日)午後1時30分開演
 会場・大ホール 入場料・無料。入場整理券は正礼竹村、文化会館にあります

佐々木 喜久治 三人展

秋田県知事佐々木喜久治氏、県出納長篠田吉一氏、県芸術文化協会事務局長砥谷欽一郎氏による写真展が行われます。
 日時・10月17日(日)・10月22日(金)
 午前9時～午後5時
 会場・展示室 入場料・無料

市民文化祭

行事名	開催日時	会場
書道と盆栽展	10月24・23日	市民文化会館
市民俳句会	10月24日	展示室
市民短歌会	10月24日	会議室
謡曲と詩吟の会	10月24日	練習室
吹奏楽の夕べ	10月24日	中ホール
ピッキングバンドの夕べ	10月24日	大ホール
染の花とワラワリーデザイン展	10月27日	中ホール
音楽祭	10月28日	練習室
ジャズ・コンボの夕べ	10月28日	中ホール
いけ花展	10月29日	中ホール
吹奏楽合同演奏会	10月30日	大ホール
市民茶会	10月31日	大ホール
日本舞踊の会	10月31日	練習室
写真展	11月1日	大ホール
郷土芸能と民謡の夕べ	11月1日	展示室
川柳わらべの会	11月3日	大ホール
パレエの夕べ	11月3日	会議室
植木展示会	10月28日・11月3日	大ホール

健康・福祉

市民の10人中7人が健康を自覚

また、「参加しなかった」と答えた方は「忙しくて行けない」として、「忙しくて行けない」という答が最も多く、次いで「健康であるから必要ない」「現在医師にかかっている」「知らなかった」などの理由をあげています。

また、地区別に見ると大館地区が「参加しなかった」と答えた方が一番多く、逆に、参加者が多かったのが上川沿地区という結果が出ています。

★あなたの健康状態は

- 健康である 二九%
- どちらかといえば健康二五%
- 別段悪いところがない一八%
- 疲れを感じたりイライラすることがある 一三%
- 健康がおもしろくない一五%

この結果が出ており、市民の七割までがまず健康であると自覚しています。

第3回 世論調査結果 まとまる



項目	人数	比率(%)
結核検診	515	47.7
定例健康相談	157	14.6
乳幼児健診	137	12.7
栄養講習会	105	9.7
健康教室	38	3.5
衛生講話	27	2.5
60歳誕生日健康相談	26	2.4
母子(妊婦)相談	23	2.1
健康展	20	1.9
母親教室	17	1.6
歯科講習会	14	1.3
計	1,079	100.0

教育・文化

大学は積極的に誘致すべきだ52%

市では、住みよいまちづくりを進めるため、市民の皆さんが行政についてどのような考えを持っているか、把握するため第三回世論調査を行いました。今回の世論調査では「健康・福祉」と「教育・文化」の二つの問題点について一千四百八十五人の方々からお答えいただきました。この調査した中からいくつか取り上げてみました。

★昨年一年間に、あなたは健康教室や各種検診などに参加しましたか？

「参加した」が約六割を占めており、そのうち結核検診がほとんどの結果が出ています。

近年高血圧予防が叫ばれているため栄養講習会などの参加者が増えています。



★集団検診についての要望は

- 短時間で検診を 三〇%
- 検診結果を早く通知してほしい 一八%
- 適切な事後指導を 一七%
- 検診日をもっと早く知らせしてほしい 一四%
- 農繁期をさけて 一〇%
- 検診種目をふやして 七%

高齢化社会を迎え

老人福祉対策は

現在市の六十五歳以上の老人人口の比率は九・九%(三十五年は四・四%、四十五年は六・五%)となっており、高齢化社会への対応が大きな課題となっています。そこで、

★市の老人福祉対策で特に力を入れてほしいものは

- 老人の能力を社会と結びつける生かす対策 三三%
- 健康増進、疾病予防、リハビリテーションなどの一貫した総合保健体系の確立 二七%
- 老人ホーム、老人病院など施設の充実 一七%
- 一人暮らしの老人、寝たきり老人対策 一六%
- 高齢者の就労対策 一六%

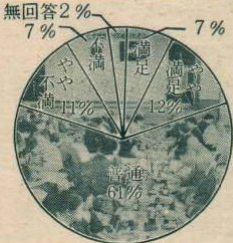
郷土芸能の継承保存を

継承保存を

今「文化の時代」といわれ文化に対する関心が高まり文化行政の進め方が重要になってきました。そこで、

★文化行政への要望は

- 伝統的な郷土芸能の継承、保存 二六%
- 文化会館の高度利用 二五%
- 生涯教育の推進 一八%
- 地域の文化遺産の保護、保存 一三%
- 美観、風致行政の対策 一〇%
- 芸術文化団体の育成 九%



★大学の誘致については

- 相当な市費がかかっても誘致すべきである 五二%
- 多額の市費がかかるようなら誘致に消極的でない 二二%
- わからない 二五%
- となっており、大館市にも大学をという市民の声が相当高まっていることがわかります。

★文化会館でやってほしい催し物(複数回答)

項目	男性	女性
1 放送局の公開番組	17%	17%
2 講演会(時局、文学教育関係など)	15%	15%
3 歌謡ショー	15%	14%
4 市民による演劇、文芸、展覧会、芸能発表など	12%	12%
5 音楽会(クラシック)	9%	9%
6 民謡	8%	9%

市民と語る会

対話の集い市民と語る会も残すところあとわずかとなりました。大館地区は次の会場で行います。日程をお確かめのうえ、皆さん多数ご出席ください。

期日	会場
10月4日(月)	遍照院
6日(水)	一心院
7日(木)	相染町会館
8日(金)	東台一丁目会館
12日(火)	神明社長床
13日(水)	南ヶ丘会館

時間 午後7時半～9時半

留山健治郎

国際婦人年には出発点であったはずですが、事は終わったのではなく、日本の、そして大館の夜明けのための強い女性を市民の力で保障して行かなければなりません。



No. 56

男女平等
「男女平等」確かに法のもとではそうでしょうが、現実には必ずしもそうではない、そのことを否定できる人はいないでしょう。

平等とはいっても男女に平等な労働能力が備わっているわけではないという反論もありますが、それは正論ではありません。女性に平等の機会が歴史的に保障されていれば、正論でないことはより明確に証明できることは論を待たないところです。

日本の女性美は「大和なでしこ」的美つまり男性に追いつく中に女性美の存在を見出し、これこそ伝統美だとされてきました。しかしそれは男性優位論の変形であって、女性の美しさは「忍」、「堅実」、「生命」の三つであると考えます。

男性優位論に耐え、真摯に代表されるように、より伝統的現実的である中にも、生命を生み、育てるという展望性を併せ持っているからです。いまだ女性の特性が社会に求められている時ではないでしょうか。

絶えない権力闘争、思いやりのない社会環境から生ずる青少年非行の芽、日常生活や職場における過度の競争心、闘争心、そしてそれによって来る「我が身の安全性」こそ平和だとの主張、戦争肯定への道を拓く危険性や男女同居する社会に不平等、不公平はあっているはずありません。女性の社会参加を保障し、平等の人事は日本の社会や経済の動きに新しい活力を生み、日本の平和、ひいては世界の平和に大きなウネリを起こすことは間違いないでしょう。

国際婦人年には出発点であったはずですが、事は終わったのではなく、日本の、そして大館の夜明けのための強い女性を市民の力で保障して行かなければなりません。

「教育の日」記念論文 子供たちに伝えたい二つのこと 最優秀論文沓沢圭子さん

「教育の日」を記念して募集していた記念論文で、次の方々の論文が入選になりました。
 <最優秀> 沓沢圭子さん(赤館町)
 <優秀> 高杉義勝さん(繁沢)
 工藤春代さん(新沢)
 このうち、沓沢圭子さんの最優秀論文を、今号と次号の2回にわたって掲載します。



私は、この「教育の日」にちなんで子供たちと共に、是非とも守って生活していきたい二つのことを述べてみたいと思います。

一つは、幼児の時から呼ばれたら「ハイ」と気持ちのよい返事を相手に返すしつけを徹底的にすると同時に、大人も「ハイ」と返事をすることを常に心がけること。二つ目は、背骨が正常に發育するように、子供の心身に對してきめこまかな配慮をすること。この二つです。現在は、子供をとりまく悲惨な事件が、次々と起こっていますがこの二つのことに留意して育てることが、これらの悲しい出来事を予防する底からの力をつけ、素直で丈夫な子供に成長する大切な要素を培うのではないのでしょうか。

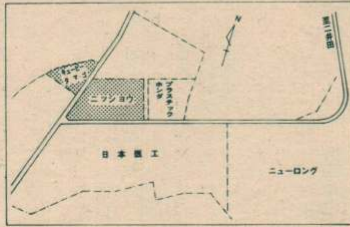
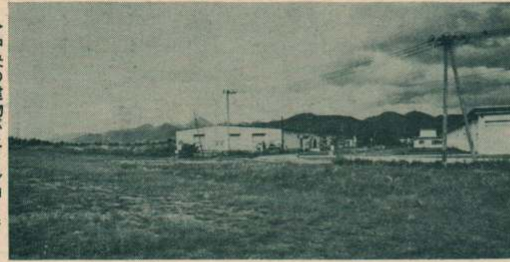
私の尊敬する数学者の故岡潔先生は幼い時祖父から「他人を先にして、自分を後にせよ」という戒律を厳しく守らせられたそうです。これは自我を抑止せよということであり、数学者としての自分、つまり創造性に富んだ人格に育てられるのに、一番役立った教育は、祖父のこの教えであったと「業の火花」の中で述べ「学問上の優れた発見、発明、芸術上の創作は、すべてその人の情緒が、大脳前頭葉から出て、外界に形あるものとして表現せられるのであり、本当に生きがいを感じて生きている人は、日々創造し続けているのだ」と述べています。大脳前頭葉を本当によく働かせるためには自我を抑

止する訓練を幼時から行うことが望ましいと色々な例をひいて説明しています。私は、呼ばれた時に、即座に「ハイ」という返事をするのは、瞬間的に自我を抑止する訓練をしていることになり、この習慣が身につくことで、青年期になった時に相手の話すことを受け容れられる下地を培っており、それが青年自身の幸せを築く力に結実するのではないかと思います。

私は三好達治の
 “わが名を呼びてたまはれ
 いとけなき日のよび名もて
 わが名をよびてたまはれ
 あはれ いまひとたび わがいとけなき日の名をよびてたまはれ
 風の吹く日とほくより
 わが名をよびてたまはれ
 庭のかたへに茶の花の
 さきのこる日のちらちらと
 雪ふる日とほくより
 わが名をよびてたまはれ
 よびてたまはれ
 わが名をよびてたまはれ”

という詩が、好きなのですが「ハイ」という気持ちのよい返事の出来た童心の時期を自らに持っている人が、この詩に感動する心と、原点に立ち帰ろうとする素直さをよみがえらすことが出来るのではないのでしょうか。しかし、子供たちも身近に「ハイ」という言葉が聞かれる環境であるよう、私たち大人も「ハイ」と返事出来る人間になるよう努力をしなければと思わされるこの頃です。(次号につづく)

中央の建物がニッショイで左側空地にはキュービータマゴの工場が建設されます



ニッショイ大館工場は、二井田の内陸工業団地にある日本医工(株)の北側の一万二千平方メートルの敷地に、三十四万平方メートル(第一期分)を現在建設中です。そして来年一月、従業員三十五人(男二十五人、女十人)で操業を開始。注射針、注射筒

医療用器具メーカーである「株式会社ニッショイ」は、大阪市内に本社があり、滋賀県大津工場に次ぐ第二工場を本市に建設するものです。
 ニッショイ大館工場は、二井田の内陸工業団地にある日本医工(株)の北側の一万二千平方メートルの敷地に、三十四万平方メートル(第一期分)を現在建設中です。そして来年一月、従業員三十五人(男二十五人、女十人)で操業を開始。注射針、注射筒

市では、二井田にある内陸工業団地への企業誘致を進めています。新たに医療器具メーカーである「株式会社ニッショイ」の大館工場と、鶏卵の加工工場である「キュービータマゴ株式会社」の秋田営業所付属工場の二企業を誘致しました。これにより市の誘致企業は、全部で十一企業となりました。
 大館工場
 秋田営業所付属工場
 マヨネーズで有名な「キュービータマゴ株式会社」が、鶏卵を加工する工場を団地内に建設するものです。
 キュービータマゴ(株)は、全国に十二の工場を持ち、主に液卵、冷凍卵など鶏卵の加工を行なうほか、鶏卵の端境期には、ニンジシ、ヤマノイモなど農産物の加工を行っています。
 工場は、ニッショイ大館工場の西側五千平方メートルの敷地に建設され、来年四月、従業員十七人で操業開始されます。雇面では中高年層を対象にしておりまた地元産の鶏卵、そ菜の生産向上に結びつくと期待されています。

新たに二企業を誘致

輸液セットなどの医療用器具が生産されます。将来は八十五人ほどに増員される予定で、雇用拡大と資材の供給など本市の経済に大きく貢献されるものと期待されています。
 キュービータマゴ株式会社
 秋田営業所付属工場
 マヨネーズで有名な「キュービータマゴ株式会社」が、鶏卵を加工する工場を団地内に建設するものです。

救急車は正しく利用しましょう

あなたの家族が、知人が、またはあなた自身が急病や事故にあったとき、いち早く病院へ運ぶため救急車は日夜待機しています。救急車は正しく利用してください。



- ◆救急車の呼びかた
 救急車を呼ぶときは、ダイヤル119番を回し、次の要領で通報してください。
 ①「交通事故です」または、「急病です」
 ②「〇〇番〇〇号〇〇小学校の北側です」……目標物を詳しく
 ③「病人が〇人です。〇〇をケガしています」
 ④「私の名前は〇〇で、この電話は〇局〇〇〇番です」
 ◆救急車を誘導してください
 救急車の「ビーボア」が開いたら、目標となる場所に出で救急車を病人のところまで誘導してください。
- ◆救急車を利用
 できないのは
 救急車は、一日平均約三回出動していますが、緊急を要しない場合の出動要請が非常に多くなっています。生命にかかわる傷病以外の出動要請はしないようご協力をお願いします。
 ・軽い病やケガで、緊急に運ぶ必要のない傷病者
 ・ケガや病気でない酔っぱらい
 ・お産で入院するとき
 ◆救急車を利用できるのは
 ・災害によって負傷者がたるとき
 ・交通事故や運動競技中の事故で負傷者や病人がたるとき
 ・家庭などで負傷者や急病人がで、医療機関へ運ぶ手段がなく、緊急に運ばなければならないとき。

- ◆各種相談のお知らせ
 ◆家庭教育相談 10月4日、18日、25日
 ◆交通事故相談 10月12日、19日、26日
 ◆社会保険相談 10月20日
 ◆法律相談 10月18日
 ◆市役所会議室
 じゃん・午前9時～午後4時

二井田財産区議会議員一般選挙

二井田財産区議会議員の選挙が、次の日程で行われます。ルールを守って明るく正しい選挙にしましょう。

投票日・10月29日(金)午前7時～午後6時
 選挙職員数・7人
 ◆選挙人名簿の縦覧と閲覧
 期間・10月22日、26日 午前8時30分～午後5時
 縦覧・市役所選挙管理委員会事務室
 閲覧・二井田出張所(土曜日午後と日曜日をのぞく)
 ◆投票の日
 昭和三十七年十月三十日以前に生まれた方で、昭和五十七年七月二十一日以前から二井田地区に引き続き住所を有している方です。
 ◆不在者投票
 期間・10月22～28日
 午前8時30分～午後5時
 場所・選挙管理委員会事務室(電話49-3111)

市役所を「案内」します

社会教育課 (課長 菊地 博)

本庁舎東側三階の教育委員会事務局には、先に紹介しました総務課、学校教育課、そして今回の社会教育課(社会教育係、生涯教育係)があります。

――社会教育係ではどんな仕事をしていますか
 公民館、図書館、児童育成施設など社会教育施設の活動の指導助言、視聴覚の講座とフィルムの貸出し、文化財の保護、芸術文化の奨励、青少年問題協議会、環境浄化推進会議に関する仕事のほか、成人式の行事、少女発明クラブ、ユースホステル、花いっぱい運動の仕事も扱っています。

――生涯教育係ではどんな仕事をしていますか
 生涯教育推進事業として、毎年9月に「教育の日」を実施しています。また、各公民館に生涯教育奨励室(フーリーの窓口)を置き、市民が学習するための整備充実を図っています。また生涯教育奨励員の特技を生かして公民館の実施する事業、各種講座等に講師、司会者、助言者として活用を図るため、より一層公民館との連携の強化を努めています。そのほか生涯教育の広報紙「あゆみ」を発行しています。

社会教育課 49-3111内線254、5

結婚披露宴

披露宴について皆さんのご意見ご提言をお寄せください。

電話番号を記載したうえ十月十六日までに市役所総務課広報係まで郵送してください。

